

続：衆議院議員に血液型の特徴が見られるか I

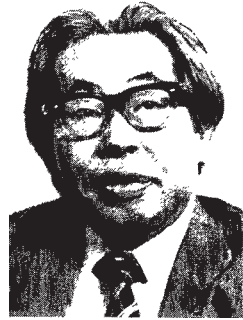
— 民主党議員についての分析 —

○浮谷秀一 大村政男 藤田主一
 (東京富士大学) (日本大学) (日本体育大学)
 血液型 O 型 小泉チルドレン 市川千枝子

Continued : Is there any characteristics of Blood Type distribution among the member of The House of Representatives? I
 — An Analysis of The Democratic Party Member —

Shuuichi Ukiya Masao Ohmura Shuichi Fujita
 (Tokyo Fuji Univ.) (Nihon Univ.) (Nippon Sport Science Univ.)
 Keywords : Blood type O Koizumi Children Chieko Ichikawa

1 はしがき この研究の発端は能見正比古が 1978 年にサンケイ出版から刊行した『血液型政治学』である。この書籍は能見の 8 番目の著述で次の 6 章から構成されている。I 三木選びと三木おろし—その血液型的考察、II 数字の描く血液型政治、III 血液型と性格のミニガイド、IV 血液型別に見る政治家像、V 派閥と血液型、VI 血液型政治学 今後の課題。



能見正比古

これらの課題を見ると当然のことではあるが「血液型」が回転軸になっている。心理学における多くの研究は常に 1879 年以後の $y=f(x)$ をベースにしている。この場合、 x は ABO 式 4 型の血液型で独立変数、 y は x によって生起する従属変数 (代議士行動) ということになるが、そう決めこむことは危険である。実験室内のようにはいかない。血液型だけで一因一果が成立するならばこんな簡単なことはないのである。血液型で政治が動いていく—というのは発想としては面白いが現実的には役に立つとは思えない。

2 民主党の爆発的躍進 第 45 回の総選挙は民主党の爆発的躍進で終わったが、それと対応して自民党の凋落は無残であった。この選挙における大衆の動きを絵で示すと次のようになると思う (アメリカの心理学書から転載)。



その躍進を民主党側から展望してみよう。民主党議員 (血液型の判明者のみ) は、総選挙前は 107 名であったのが総選挙後は 253 名に躍進している。能見正比古ならなにかこじつけるかもしれないが、血液型別に有意な差は認められないという結果が出ている (Table 1)。総選挙前後の各血液型の比率間にも有意な差は表われていない。次に、小選挙区議員と比例代表区議員とではどうであろうか。後者は一般に前者よりも格下に見られるようである。特に小選挙区での落選を用心して比例代表区にも登録しておいてかろうじて当選した人 (例：元防衛相の小池百合子、元外務大臣の町村信孝など) は軽く見られているようである。

Table 1 第 45 回総選挙における民主党の爆発的躍進

		A	B	O	AB	合計
総選挙前	観察数	29	31	35	12	107 χ^2 5.83
	%	27.1	29.0	32.7	11.2	
	期待数	39.9	23.7	33.7	9.7	
総選挙後	観察数	96	62	68	27	253 χ^2 3.12
	%	37.9	24.5	26.9	10.7	
	期待数	94.4	55.9	79.7	23.0	

Table 2 を詳しく調べてみると全般にわたって有意差は見出されていない。

Table 2 民主 党における小選挙区議員と比例代表区議員

		A	B	O	AB	合計
小選挙区議員	観察数	69	45	54	22	190 χ^2 2.10
	%	36.3	23.7	28.4	11.6	
	期待数	70.9	42.0	59.8	17.3	
比例代表区議員	観察数	27	17	14	5	63 χ^2 3.10
	%	42.9	27.0	22.2	7.9	
	期待数	23.5	13.9	19.9	5.7	

3 小泉チルドレン vs 小沢ガールズ 小泉チルドレンはあの小泉のヒステリックな郵政解散のときに躍り出た刺客的存在である。しかし、第 45 回の総選挙で霧消してしまった。小沢ガールズはマスコミが小沢チルドレンに付けたネームであるが、いっこうに冴えない。それに人数はわずか 6 名である。小泉チルドレン (発足時 79 名) の人数と比較するのはあまりにも不均衡であるがいちおう対応させてみよう (Table 3)。

Table 3 小泉チルドレン (前回報告の数値改訂) と小沢ガールズ

		A	B	O	AB	合計
小泉チルドレン	観察数	34	19	16	10	79 χ^2 5.11
	%	43.0	24.0	20.3	12.7	
	期待数	29.5	17.4	24.9	7.2	
小沢ガールズ	観察数	3	0	1	2	6 χ^2 5.29
	%	50.0	0.0	16.7	33.3	
	期待数	2.2	1.3	1.9	0.6	

4 結論にかえて 能見正比古の養嗣子俊賢は平成 18 年 9 月 27 日、57 歳の若さで急逝した。しかし、血液型人間学は死んでいなかった。「NPO 法人ヒューマンサイエンス ABO センター」(代表：市川千枝子) が後継している。インドネシアにまで出掛けて宣布している。中国や韓国でも正比古の「血液型人間学」はその国の国語で上梓されている。「血液型人間学」はかつての大東亜共栄圏の文化になるのであろうか。